

群馬県立藤岡工業高等学校

学 校 評 価 一 覧 表 ②

(令和4年度版)

(様式2)

羅 針 盤			達 成 度			改 善 状 況 の ま と め	学 校 関 係 者 評 価	次 年 度 の 課 題
評 価 対 象	評 価 項 目	具体的数値項目	①	②	総合			
Ⅰ 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 工業高校として特色ある教育活動を行っていますか。	①くくり募集、学科・コース選択制などは、本校独自の特色であると感じている生徒が80%以上である。	A	A	A	・本校独自のくくり募集や学科・コース選択制の長所を生かした教育活動により、88%の生徒がこれらの制度を特徴的であると感じている。 ・新型コロナウイルスの関係で各種大会やコンテストの参加には影響があったが、課題研究の実践や校内発表等を通して生徒の活動意欲喚起に努めている。 ・「藤工SDGsプロジェクト」は地域からは高い評価を得ており、定着と活性化を今後も図っていく。	・くくり募集については、入学後時間をかけて学科・コースを検討できるので、生徒には大変良いシステムだと思う。 ・ものづくり活動に満足している生徒が86%と以前より増加はしている。より一層の活性化を図って欲しい。 ・環境保全活動の実践は定着しているので、更なる意識の向上を目指して欲しい。	・入学後だけではなく、入学前の生徒や保護者、地域住民に対して、本校独自の教育システムの周知を図っていく。2年次より、学科毎のクラス編成となり、学校行事等を通して各科の特長が出せるように努める。 ・ものづくり活動を更に活性化し、生徒の満足度を高める。 ・3Rや3S、環境保全活動の実践をさらに充実させ、活動を継続的にやっていく。
		②ものづくり教育（工業科目の学習や実習）を通して、実践的な技能・技術が身につけていると実感している生徒が80%以上である。	A	A	A			
		③環境に配慮した活動やボランティア活動に参加することで、地域社会や環境保全への貢献を意識している生徒が80%以上である。	B	B	B			
Ⅱ 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	④資格取得に挑戦し、卒業までに3つ以上の資格を取得している生徒が60%以上である。	A	A	A	・朝学習や基礎学力テスト等の取り組みにより、基礎学力の向上を図っている。また、夏季休業、冬季休業中の成績不振者指導等のきめ細かい指導を行った。 ・職員相互の授業公開を実施し、授業改善に役立てている。 ・資格取得係により生徒の資格取得状況に関する情報を提供した、また各科による指導が行われた。	・生徒が学習習慣を身につけ、より主体的に学習に取り組める方策を模索する必要がある。 ・資格取得に対する指導を工夫し、合格率アップにつなげて欲しい。また、工業科目以外の検定についても積極的に指導して欲しい。 ・本校卒業生であることを誇りに思えるような社会常識、基礎学力等を身につけて卒業を迎えていると感じる。	・学習に対しては、自己（職員）評価より外部（生徒・保護者）評価が高い結果となっている。授業内容の改善やスタディサプリを活用していく。 ・授業公開後の結果や、研修内容を有効活用していく手立てについて、検討が必要である。 ・資格取得(合格)させるための指導を今後も継続し、講習等も自主的に参加することや、学習をする習慣を持たせる。 ・1人1台タブレットPCの積極的な活用をサポートする。
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑤学習に積極的に取り組み、学習内容の基礎・基本が定着していると自己評価している生徒が80%以上である。	A	C	B			
Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑥職員会議や学年・科会議において生徒に関する情報交換を月に2回以上実施するとともに、生徒とコミュニケーションを図りながら共通認識に基づく指導を行っている。 ⑦安全管理・安全指導に努め、学校生活の全ての場面において安心して活動できていると感じている生徒が80%以上である。	A	A	A	・職員会議、企画会議、学年会議、各科会議等において生徒に関する情報交換を行った。 ・会議等で生徒に関する情報交換を十分に行い、職員の共通理解のもと生徒を指導することができた。 ・工業高校として安全に留意し、毎月の定期点検だけではなく、日頃から危険箇所の発見に努めながら速やかな修理等の改善を行った。 ・授業、HR活動を通じ生徒間の健全な人間関係構築に努めた。 ・コロナ禍ではあったが、生徒会行事や各種委員会活動を実施することができた。 ・担任、生徒指導部だけの指導でなく、学年主任、学科主任による遅刻指導も行った。 ・定期的な身だしなみ指導と、事後指導を行うことができた。	・会議等で情報を共有し、生徒理解に努めながらコミュニケーションを図り、きめ細かい指導を行うことができた。 ・コロナ禍で難しい状況ではあるが、子供達のために一つでも多く「出来ること」を探して、今後も実行し下さい。 ・いじめの未然防止、早期発見、早期対応に一層努めてほしい。 ・遅刻することに慣れてしまっている生徒への指導を工夫する必要がある。 ・生徒指導の積み重ねが、卒業後に活きていると実感している。時に厳しいと感じられても、その指導によって高校生らしい身だしなみや生活態度が保たれている。 ・スマホの利用について等、生徒会や生徒自らにルール設定をさせている他校の例を参考にしてみてもどうか。	・今後も学年や学科、教科等による情報交換を継続し、情報の共有と生徒理解に努める。 ・様々な機会を通して生徒との信頼関係構築を図るとともに、教育相談の充実や相談しやすい体制づくりを推進していく。 ・生徒が主体的になって、いじめ防止活動を行えるように計画してゆく。 ・本校として取組めるボランティア活動を実践し、生徒に心豊かな経験を持たせ自己肯定感を得る方策を考えていく。 ・家庭とのより密な連携を図り、学校と家庭で協力し合いながら指導をしていく。 ・学校生活全体を通じ、身だしなみ指導を行っていく。 ・より有効な遅刻指導を検討し、実施する。
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	⑧「学校はいじめの防止や早期発見に向けた取り組みを積極的に行っている」と認識している生徒が80%以上である。	A	B	B			
	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑨1日の遅刻者数が10人以下である。	B	C	C			
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑩「自己の生き方」と「将来の職業」とを関連させた進路指導を行っている と、生徒の80%以上が評価している。 ⑪1学年企業・大学見学、2学年就業体験、3学年進路面接などの進路関係の行事を実施し、役立ったと満足している生徒が80%以上である。	A	B	A	・時期に応じた適切な進路情報を提供できるよう、行事を計画し実施することが出来た。 ・内容と配布時期の見直しを行った。 ・新型コロナウイルスの影響で中止していた2学年の短期就業体験を、今年度は再開して実施することができた。 ・外部講師、進路ガイダンス、進路講演会や進路講話を通じて「自己の生き方」や「将来の職業」を考えさせることができた。 ・保護者会などを通して、進路に関する関心を高めるような、啓発を行った。	・計画的な進路指導により、生徒が主体的に適切な進路選択ができるようになった。 ・配付物に目を通す保護者の割合を更に向上させてもらいたい。メール配信を併用して連絡してはどうか。 ・進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒の割合の更なる向上を目指してもらいたい。	・学年や分掌等と連携し、進路選択により効果的な行事や学習を検討する。 ・進路の手引きの内容や求人票の閲覧システムを充実し、保護者も参加した進路選択となるよう工夫する。 ・今年度は2年ぶりに短期就業体験を実施できたので、次年度も実施に向けて準備をしていく。 ・生徒の8割以上は進路実現に取り組んでいると答えているが、教員側はそれを認識していないため、生徒を理解する必要がある。
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑫進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が、80%以上である。	C	C	C			
		⑬生徒の将来の志望について理解している保護者が、80%以上である。	A	A	A			

V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑭ 家庭や地域社会の人々に学校の教育活動を理解してもらうため、「学校公開」を年3回実施している。	A	A	A	・中学生対象の「藤岡ポータル」交流会など工業高校への興味・関心を高める活動を行った。さらに、「藤工新聞」を年3回発行し、中学校や地域に対する広報活動を積極的に実施した。 ・ホームページの更新を迅速に行い、常に最新の情報を発信した。 ・例年は同窓会やPTA役員の方々に面接官として協力いただき、進路模擬面接を実施していたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。	・今後も学校開放は積極的にして欲しい。学校と地域が一体となって、子ども達を育てられたら素晴らしいと思う。 ・ホームページでは、見やすい写真とともに最新の情報を発信されていて、学校の様子が分かりやすい。 ・子供からは、毎日の学校での様子を細かく聞くことはできないので、ホームページや藤工新聞などで学校生活や活動の様子が分かると親として安心できる。資格取得や就職などの情報をPRしていけると良い。 ・同窓会や学校後援会の方が面接官となって面接練習を行うことは大変素晴らしいと思うので、生徒のためにも次年度はぜひ実施し、取り組みを継続したい。	・中学生対象の藤岡ポータルでは、新型コロナウイルス対策を考慮した上で、より活性化した大会の実現を図っていきたい。 ・ホームページの更新は適宜行っているの、今後は動画や写真を増やしたり、デザイン等を工夫していきたい。 ・「保護者が学校へ行ってみたくなる」ような行事を、今後も継続して計画・実施していく。 ・外部講師を積極的に招くなど、地域力を積極的に活用し、教育活動を充実させ、教育の質を更に向上させる。
		⑮ 学校行事や学校から発信される情報に、関心を持っている保護者が80%以上である。	B	B	B			
VI 教育のデジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	⑯ ICTを活用して行われている授業について、生徒の80%以上が満足している。	A	A	A	・整備された1人1台端末、Wi-Fi環境、プロジェクタ等のICT機器を活用した授業を行った。 ・ICTを生徒や保護者と学校の情報伝達等に活用した。	・ICTを活用した授業や通知・アンケートへの満足度は高い。	・さらにICTを活用を推進し、授業改善や業務改善に努めていく。 ・生徒の1人1台端末の学習外の利用が度々見受けられる。どうしたら有益な利用ができるかが今後の検討課題である。
	11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	⑰ ICTを活用した通知やアンケートに、生徒・保護者の80%以上が満足している。	A	B	A			